

令和6年度 第2回 青森警察署協議会議事録		
開催日時	令和6年10月31日(木) 午後1:00～午後2:10	
開催場所	青森警察署4階講堂	
出席	委員	会長以下11人
	警察署	署長以下10人
開催内容		
<p>1 開会 2 協議会会長挨拶 3 警察署長挨拶 4 議事</p> <p>(1) 治安概況 (2) 活動概況 (3) 事前意見・要望に対する回答</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>公園では多くの子供たちが遊んでいるが、夏休み中に、地域の方が酒に酔った状態で子供たちに話しかけたり、スマートフォンを向けるということがあったので、通報して交番の方に来てもらった。 公園や周辺の道路にネットワークカメラを設置するなど、ICTを活用した防犯対策等が可能かどうか、伺いたい。</p> </div> <p>【回答】 子供に対する声掛けやスマートフォンを向けての容姿撮影について、警察で通報を受けた場合、警察では、声掛け事案や不審者情報として、タイムリーな情報発信を実施して地域住民に注意喚起を図っている他、行為者の特定のために必要な捜査を実施し、行為者の検挙、注意指導といった措置をとるなど、重大事案の発展を防止するための先制予防的活動を実施している。 また当署では、青森地区防犯協会と連携して防犯カメラ設置事業も推進し、設置場所については、様々な観点から必要性が高い場所から優先的に設置し運用しており、今後も継続して事業を推進する。 なお、カメラについては、現状サイバーセキュリティなどの観点からネットワークカメラではなく、電磁的記録媒体に記録するカメラを運用している。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>平内町から青森方面に向かう際に道路上にある温度計が切れているところがあるので整備をお願いしたい。 土屋バイパス通りにライトの設置があり夜間や風雪時の視界確保等非常に助かっていた。現在、ライトの点灯はされていないが、今後冬期間に向けてライトの設置をお願いしたい。</p> </div> <p>【回答】 要望にあった温度計や道路照明灯については、道路管理者の管理であり、国道は、国土交通省青森河川国道事務所（一部の国道は県民局）となるが、交通事故防止のため、道路の危険箇所等について、日頃から道路管理者と情報を共有している。 今回の内容についても、国道4号の道路管理者である河川国道事務所に伝えたので、今後もお気づきの点があればお知らせ願いたい。 また、一時停止や横断歩道、駐車禁止などの規制標識は警察の管理となるので、これらの標識に不備がある場合は交通課規制係までお知らせ願いたい。</p>		

青森署からの電話がスマートフォンに着信時通知不可能と表示される。非通知の番号には出ない方もいると思うので、改善が必要かと思われる。

【回答】

警察本部内の関係課に問合せをした結果、警察側の設定の問題ではなく、各通信会社（キャリア）の基地局の問題である可能性が高いことが分かった。
通信会社等へ連絡を行い、改善されるよう働きかけていきたい。

以前からあったが、最近顕著に詐欺メールが増えた気がする。会社のPCメールにも必要なメール以上に毎日送られてくる状況。

迷惑メールに振り分けるなどの簡易な対策はするが、イタチごっこの状態で、PCに疎い人や高齢者だと騙されないか危惧している。

同様の電話も多々あり、方々からもよく話を聞く（特に、携帯に来るセールス電話や録音アナウンスの何とか調査等）。

何かよい対策方法や周知の方法があれば、ご教示願う。

【回答】

特殊詐欺及びSNS型投資・ロマンス詐欺の被害が拡大している。

迷惑メールや迷惑電話に対しては、各キャリアやプロバイダでサービス等を提供しており、例えば、NTTでは、ナンバーリクエストという非通知電話は鳴らないようなサービスもあり、高齢者世帯であれば無料で利用できるものや、最近では国際電話による特殊詐欺も急増しており、海外との電話を無償で休止できるサービスもある。

警察では、高齢者世帯に対し、迷惑電話撃退装置という警告メッセージがアナウンスされる機材の貸出しを行っており、これらのサービス等を利用していただきながら、「知らないメールは見ない、ひらかない」「知らない電話には出ない」というのが一番の対策になるかと思われる。

周知の方法としては、警察では、青森県警察防犯アプリ「まもリン」で広報を実施している他、街頭において注意喚起を実施するなど広報啓発活動を実施していますが、これら提供した情報を、機会があるごとに話題として取り上げてもらう等、情報を拡散していただければありがたい。

公務員の中でも離職率が高いとされている警察官だが、人員不足もあるなかで、青森警察署で行っている取組があれば教えていただきたい。

【回答】

当署独自の施策ではないが、青森県警全体の取組の1つとして、ワークライフバランスを推進しており、休暇を取得しやすい環境づくりのため、毎月1日の休暇取得を目指す「月一休暇」の取得推進、個人の業務内容に合わせた時差出勤、男性職員の育児休業取得等を進めるとともに、制度の周知にも力を入れ、私生活の充実を図り、仕事と私生活の両立を通じて仕事へのやりがいにつながれば良いと考えている。

また、若手職員に早く一人前になってもらい、戦力として活躍してもらえるよう、ベテラン職員の知識・技能を若手職員に伝える伝承教養、各分野で活躍する技能指導者などによる実践的な教養・訓練を実施して若手職員の早期育成を推進している。

人口減少が進む中、警察官の人員は人口に対して何人となっているのか。
また、交番など人口に対して設置数が決められているものなのか。

【回答】

都道府県警察の警察官の人数、つまり、定員の具体的数字は、警察法施行令で定員の基準を、青森県警察職員定員条例で具体的な定員数をそれぞれ定めており、現在の本県警察の警察官の定員は、条例で2,348人と定められている

定員数については、都道府県ごとの人口推移も考慮される点もあるが、主に犯罪情勢等を総合的に勘案して定員が決められている。

本県警察の定員の推移として、平成29年以降、人口減少の中でも現在の定員数を維持し

ており、現在の定員になる以前もストーカー事案対策やサイバー犯罪対策などを理由に定員の増員が行われた経緯もある。

なお、人口負担率という点で見ると、本県は、警察官一人あたり528人となっており、全国で25番目、東北では4番目の負担率となっている。

交番等の設置数については、人口等の地域社会の変容や治安状況等を勘案し、警察本部と連携の上、随時見直しを行っている。

引き続き交番等が地域住民の安全と安心のよりどころとして十分に機能するよう運用に努める。

最近、外環状線を土曜日・日曜日に暴走車が騒音を立てて、10台位走っているが、パトカーが定期的に巡回しているため、非常に心強く感じている。

【回答】

管内において、深夜帯に騒音バイク・車が走行していることについては、日頃から警戒活動を行っているほか、騒音の原因となる消音器不備などの違反を検挙している。

今後も警戒活動を継続して、暴走行為の抑止に努めるが、暴走車両を目撃した場合は、110番通報していただければ、走行状況を把握することができるので、ご協力をお願いしたい。

暴走車両の騒音について、行為者などの情報は警察でもある程度把握しているのか。
例えば、住民の側で暴走車両の運転手や持ち主がわかっている場合や、近所の噂程度の情報でも、通報した方が良いのか。

【回答】

例えば、自宅に違法改造バイクを保管しているとか、非行集団でバイクや改造車を持っているという情報はある程度は把握しており、先制的に注意したり、事故や違反で認知して警告することもある。

ただし地元の方にしか知り得ない情報もあると思うので、情報提供や通報をお願いしたい。

5 報告事項

地域官から、「勝田交番の統廃合に向けた取組等」について説明した。

6 連絡事項

7 会長総括

8 閉会

【開催状況】

